コラム　教えて！エリ先生

この時期の発達過程

ハイハイ→つかまり立ち→伝い歩き、と著しく身体の発達の変化が見られる時期です。早い子では一人で歩ける子もいるでしょう。とはいえこの時期の発達は個人差が大きいので、自由に動くことを十分にさせてあげながら、お子さん自身のタイミングで出来るようになるのをのんびり待ってあげましょう。
手も器用に動かせるようになってくるので、指先を使った遊びを環境の中に置いてあげていると、興味を持てば遊んでくれると思います。

また、早いお子さんですと１０か月あたりから指さしが始まる子もいます。指さしが始まると、自分が指さしをしたものに対して大人がいつも同じ言葉を使っている事にだんだん気づき始めます。これは、言葉には意味があるのだと意識する段階。同じ言葉を繰り返し伝えていくことで、例えまだ自分では話せなくても、言葉の存在に気づきその物の名前を覚えていくようになります。やがて１歳頃になると意図して言葉を発することが出来るようになります。ぜひたくさんの言葉を語りかけて聞かせてあげましょう。

この時期のお悩み

「収納してあったものを全部出されてしまった」「気づいたらティッシュやお尻ふきを全部引っ張り出されていた」「食事中に食べ物を投げられて困る」そんな、大人からみたら「イタズラ」と思われるような行動が活発になる時期でもありますね。特に、大人しいと思ったら一生懸命集中してイタズラしていた、という場面もあるかもしれません。

これは、赤ちゃんの「今この能力を獲得したい」という生命の欲求の現れであり、子どもにとっては全て意味のある行動です。例えばティッシュを引っ張り出すという動きは、親指、人差し指、中指と３本の指を使いますよね。３本の指でつまむという動きは、のちのちお箸を持ったり、鉛筆を持ったりする動きにもつながっていきます。赤ちゃんは内なる生命の欲求に従いながら、今の自分にとって必要な発達を獲得しようとしているのです。ティッシュやお尻ふきを出されたら困ってしまう場合は、代わりに引っ張るおもちゃなどで代用することも出来ます。食べ物を投げてしまう場合は、ボール投げをたくさんやらせて発散させてあげましょう。モンテッソーリ教育では、子どもの自発的な行動には全て意味があると考えています。目の前のお子さんが今どんなことに夢中になっているのか、お子さんの行動をじっくり観察してみてください。引っ張りたい時期には引っ張れる活動を、投げたい時期には投げられる活動を、落としたい時期には落とせる活動を満足するまでさせてあげることは、子どもの発達をサポートすることに繋がります。

とは言え、子どもが「動きたいように自由に動くことをさせてあげる」「やりたいことを満足するまでやらせてあげる」ことも大事ですが、実際はいつも子どもを中心に生活が回っている訳ではないので、思い通りにさせてあげられない事もたくさんありますよね。例えば「まだ遊びたがっているけれど、もう帰らなければならない」「抱っこをせがまれたけれど今は抱っこをしてあげられない」など。このような自分の思い通りにならない経験を「断念の経験」と言いますが、これは実は赤ちゃんの時から必要な経験です。子どもは、自分の思い通りにならなかったという経験をしながら、自分で気持ちの折り合いのつけ方を学んでいます。この断念の経験によって、自己コントロールの力も育っていきます。思い通りにならなくて泣いてしまう場合は、「まだ遊びたかったのね」など共感を示しながら、子どもが自分の力で気持ちを切り替えてくれるのを見守ってあげることも、子どもの発達のサポートをする上で大切な大人の役割です。

井上エリ
子どもの心の根っこを育むcocorone主催。
アドラー心理学とモンテッソーリ教育を活かした子育て講座をオンラインで開催中。
また、自身の保育士経験も活かしながら保育士向けの研修も行っている。
アドラー勇気づけ講師、モンテッソーリ教師、8歳と1歳の女の子と男の子のママ。
インスタグラム、ブログも更新中。

STAGE 4
（10-12か月）

KONO TOY

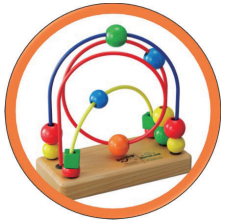
保育園がつくる
子育てサブスクリプション

パッケージ紹介

1 音いっぱいつみき(エド・インター)

見て楽しい、振って楽しい、積んで楽しい、全ﾌﾞﾛｯｸ音入りのつみきです。丸･三角･四角それぞれに異なる仕掛けが入っていて、中が見えるブロックでその動きを楽しむことができます。中が見えないつみきには、どんな仕掛けが入っているか想像する力も自然と養われます。積みやすい大きめのサイズ。リズムに乗って音を鳴らすことも楽しい月齢ですね。

2 ルーピング スクィード(ボーネルンド)



色とりどりのワイヤーにそってビーズを動かして遊びます。大人にとっては単純なあそびでも、子どもはくるくる回ったり、カーブを滑ったりするビーズの動きに夢中になります。何度でも飽きることなく繰り返して遊ぶことができます。
〈目と手の協応運動とは？〉
ひも通しやルーピングなどで培われる協応運動とは、目で見たものに対して、正確に手や指を動かせることです。そして、細かい物を思ったとおりの場所に置く、めがけた場所にボールを投げ入れる、まっすぐに走れるなどの運動能力は、目と手を使ったあそびに集中するなかで徐々に養われていきます。
スクィードは、緩やかなカーブと大きなビーズのシンプルな構造のため、ルーピングの中では「初級編」と言えます。大きなビーズを自分の指ではじく・動かすあそびがしやすく台座の裏の吸盤でテーブルに固定することで、より集中して遊びやすくなります。

3 ハンマーボール (プラントイ)

カラフルな木玉のハンマートイ。曲木の本体を撫でて感触も味わってください。ボールを整列させたり、狙いをつけて叩いたりすることで、手と目の協調を育みます。はじめはハンマーを使わず、自分の手で木玉をギュッと押し込むことを楽しみます。穴に落ちたボールは下のレールを伝わって転がり出ます。その繰り返しは「そうか、〇〇するとこうなるんだ」という、幼いなりの試行錯誤ですね。1才頃からハンマーを使うことも次第上手になっていきます。

4 ジュバ (ネフ社)

「虫なんて苦手」と思う方もいらっしゃるでしょう。けど、そんな嫌悪感なんて忘れるほどの愛嬌者！子どもにとって生き物はたくさんの学びを与えてくれますから、まずは「かわいいね」と出会いたいのです。子どもの手にフィットするサイズで指も手のひらも、手首も連動させて“くにゃり”とくねらせ、“ピーン”とまっすぐ、“ぐるぐる”渦巻など、軽い力でいろんなポーズが楽しみましょう。ネフ社の高度な技術で接合面のズレが少なく、触り心地もさすがの一流品です。きょろりと動く瞳と目が合うと、セリフを代弁したくなっちゃうかも知れません。
※お取り扱い時の注意点
通常の使用では問題ありませんが、極端に同じ方向へ回し続けることはジョイントゴムの破損に繋がりますので、お避け下さい

5 ステッキタワーB (ニック社)

まずは「抜き取る」ことからですが、1才に近づくにつれ「挿す」ことが楽しくなっていきます。その中で自然と「色」「大きさ」「順番」「秩序」に気づいていけるシンプルなおもちゃです。順番をぐちゃぐちゃに挿しちゃいそう？いえいえ、それは「あら凸凹になって面白いねえ」と声をかけたらいいですね？「カチャ〜ンって、いい音したね」と、今子どもさんが夢中なことに共感してあげましょう。

6 ソリッドドラム (プラントイ)

元気よく叩いても打面がしっかりした木製のドラム。叩く場所によって音が変わり、陽気な気分がそそられて思わず笑顔です。「あれ？こっちと音が違うぞ？もう一回試してみよう」と狙って叩く行為の中で、空間認知力や手首や腕を動かす器用さと、同時に聴覚の発達も促されます。ヘッド部分にゴムを使ったバチなので、柔らかな音色で大人も子ども達もノリノリ。　耳を澄まして音の違いに気づくことも、叩く強さで音が変わることも体験でしか学べない「加減」です。音楽の世界の玄関口として乳児にぴったりの打楽器です。

絵本 ねんどろん

こどももおとなも、ねんねんどろん、ねんどろん。たのしい、たのしいねんどろんの絵本。
「ねんねんどろん、ねんどろん！」車、飛行機、船と、どんどん形を変えるふしぎなねんどろんたち。くりかえされることばのリズムが楽しい、色彩鮮やかな絵本です。

絵本 うたえほん

赤ちゃんに繰り返し歌ってあげたい童謡が２６曲。全ての歌に歌詞と楽譜がついています。そしてなんといっても人気の秘密は、どの歌にも添えてある、つちだよしはるさんの魅力的な絵。時には物語を描き、時には小さな赤ちゃんを見守る姿を描き。可愛い動物たちや風景、誰もが親しむ行事の絵まで。歌を口ずさむママやパパにも、それを聞く赤ちゃんにも、優しく微笑みかけてくれます。

うた わらべうた

YouTube「このトイ」チャンネルで紹介しております。
QRコードよりご確認ください。